

ゆうあい、

VOL.66

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム／大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里／ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所／デイサービスセンターゆうあいホーム／訪問介護事業所ゆうあい／居宅介護支援事業所ゆうあい／訪問入浴介護事業所ゆうあい／訪問看護事業所ゆうあい／介護タクシーゆうあい／小島新開の家デイサービスセンター／小島新開の家デイサービス事業所／認知症対応型共同生活介護グループホームふきのとう／小規模多機能型居宅介護ふきのとう

発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 TEL 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男

社会福祉法人 広島友愛福祉会の17年

早いもので、広島YMCAから出向の形で大竹に赴任して17年目、準備段階（法人の設立とゆうあいホーム施設整備）から入れると20年になりました。大竹の地と最初の関わりは1991年2月に大竹市特別養護老人ホーム設置者公募（福祉ランド構想・緊急整備計画による）が中国新聞で発表され、当時は広島友愛福祉会でなく、社会福祉法人広島基督教青年会（広島YMCA福祉会）で応募し、6月大竹市議会にて設置母体として広島YMCA指名決定（25団体内13団体申請）されてからになります。その後大竹市にご支援いただきながら社会福祉法人を設立申請し、1992年5月に広島YMCAと大竹市とで“社会福祉法人広島友愛福祉会”を地域に密着した法人として設立しました。その法人で施設整備を進め、1993年4月、特別養護老人ホームゆうあいホームを定員50人で開設しました。在宅サービス部分では、ショートステイ20床、老人デイサービスB型15人、ホームヘルプ事業、在宅介護支援センター等を整備、総事業費889,714,000円で、日自振（日本自転車振興会）、大竹市、広島YMCA、広島県等より補助を得て総床面積2,700㎡でスタートしました。1995年4月には、当時の養護老人ホームとしては全国的にも先駆的な事業として注目されていた”個室“整備対応の大竹市養護老人ホームゆうあいの里50床、老人デイサービス事業C型15人、ショートステイ3床の管理運営委託を受けました。



ゆうあいホーム・ゆうあいの里

2000年4月から「措置から契約へ」というフレーズの公的介護保険制度がスタートしましたが、当法人につきましても介護老人福祉施設ゆうあいホームと指定され、介護保険施設として新たにスタートしました。2000年10月、デイサービスの利用が難しく入浴介助でも家庭風呂に入るのが難しい方々のために家庭を訪問してバスタブを居間等を利用して入浴可能とする訪問入浴介護事業を、主治医、ケアマネ、訪問看護、訪問介護の連携のもとで開始しました。2002年度はゆうあいホームを二か年事業で30床増床して合計84床、さらに防災拠点型地域交流センター（30人収容可能）総事業費440,000,000円で整備、2003年2月に小島新開の家（高齢者デイサービス事業15名ならびに障害者デイサービス事業）を開始しました。2005年9月にはかねてより職員より提案のあった「中山間部在住のため定期的な通院が確保できにくい」方にも利用いただける介護福祉タクシー事業を開始しています。2006年4月、大竹市養護老人ホームゆうあいの里指定管理者に指定となった後、10月からは外部サービス利用型特定入居者生活介護施設30床指定を受けました。そして2008年7月小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所「ふきのとう」事業開始という流れを持ちまして大竹市民への介護サービスを中心に事業拡大しております。



小島新開の家



ふきのとう

これからは皆様には選ばれる施設、事業を確立していきたいと思っております。私たちだけでケアはできません。地域の皆さま方と一緒にサービスの質の高い事業へと成長していきたいと思っておりますのでよろしくご支援、ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。
（施設長 立山 道男）